

各位  
プレスリリース



2019年09月11日

GPSS ホールディングス株式会社

GRESB インフラストラクチャー・アセット評価の結果、  
「GRESB レーティング」(5段階評価)において4スターを取得

GPSS ホールディングス株式会社(代表取締役社長：目崎 雅昭)は、2019年に実施されたGRESB インフラストラクチャー・アセット評価に初めて参加し、下記の通りの評価を取得しましたことをここにお知らせいたします。

#### ■評価結果

当社は、日本の持続可能エネルギー事業会社として、GRESB インフラストラクチャー・アセット評価に参加し、会社経営および持続可能エネルギー発電所の事業運営における、環境・社会・ガバナンス (ESG) の取り組みに関する各評価項目に関して、概ね参加企業の標準を上回る評価を得る結果となり、「GRESB レーティング」(5段階評価)において4スターの評価を取得しました。アジア圏では、当社と同じく太陽光発電を主要事業とする参加者中2位、非上場の参加者中4位となりました。特に、「ステークホルダーエンゲージメント(地域コミュニティ、従業員等とのエンゲージメント)」と、「マネジメント(ESG推進体制等)」が高く評価されました。事業運営状況のモニタリングや環境管理システムの高度化を推進し、今後もESGに対する取組を強化していきます。



■GRESB インフラストラクチャーについて

GRESB は、実物資産（不動産・インフラストラクチャー）投資の環境・社会・ガバナンス（ESG）配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織の名称であり、責任投資原則（PRI）を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に 2009 年に創設されました。

投資先の選定や投資先との対話に GRESB データを活用する「投資家メンバー」は 2019 年 9 月現在 100 機関（昨年 75 機関）以上（運用資産額 22 兆米ドル、約 2,420 兆円、1 米ドル=110 円で換算、不動産・インフラストラクチャー以外の資産も含む）に上り、日本からも株式会社日本政策投資銀行（DBJ）、三井住友 DS アセットマネジメント株式会社（2019 年 3 月加盟公表）が加盟しています。

GRESB インフラストラクチャーは、2016 年から開始された、インフラファンドおよびその投資先インフラストラクチャー資産や運営会社の ESG パフォーマンスを評価するベンチマークです。インフラ資産・運営会社を評価対象とする「アセット評価」には、本年、393 機関の参加がありました（昨年 290 機関）。詳細は、GRESB の Web サイト (<https://gresb.com/>) をご参照ください。

以上

■本件に関する問い合わせ

GPSS ホールディングス株式会社 広報グループ

TEL :03-6435-2391

Email :info@gpss.jp

HP :<https://gpss.jp>